

第 15 回出生動向基本調査 結果報告書

【正 誤 表】

2022 年 3 月 14 日版

(2022 年 3 月 14 日)

該当箇所	正誤内容
p. 166 問 7 集計表	<p>「結婚の利点」の内容の選択肢の脱字 (誤) (正)</p> <p>4 現在愛情を感じている → 現在愛情を感じている人と暮らせる</p>
p. 171 問 17 集計表	<p>「もっとも親しい交際相手」の質問文の脱字 (誤) (正)</p> <p>(5) おつとめの状況 → おつとめの状況についてお答えください。</p>
p. 174 問 24 集計表	<p>「一年以内の結婚意思」の選択肢表記ミス (誤) (正)</p> <p>2 理想的な相手が見つかるまでは結婚してもよい → 理想的な相手が見つければ結婚してもよい</p>
p. 176 問 27 集計表	<p>「一年以内の結婚の障害」の内容の選択肢の表記ミス (誤) (正)</p> <p>2 結婚式（挙式や新生活の準備のための費用） → 結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用）</p>
p. 198 問 23④ 集計表	<p>「どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ」の質問文の表記ミス (誤) (正)</p> <p>どんな会社においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ → どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ</p>

(2018年5月2日)

該当箇所	正誤内容
p.177 問30 「女」集計表	「結婚に対する考え方が変化する理由」の選択肢表記ミス (誤) (正) 4 家事・育児を男女で充実する → 家事・育児を男女で分け合う社会になる 5 家族を養う責任を男女で分け合う社会になる → 家族を養う責任を男女ともに担う社会になる
p.177 問30 「男」集計表	「結婚に対する考え方が変化する理由」の選択肢表記ミス (誤) (正) 1 結婚するにはまだ若すぎる → 雇用・労働条件が改善する 2 結婚する必要性をまだ感じない → 収入や貯蓄が増える 3 今は、仕事(または学業)にうちこみたい → 子育て支援策が充実する 4 今は、趣味や娯楽を楽しみたい → 家事・育児を男女で分け合う社会になる 5 独身の自由さや気楽さを失いたくない → 家族を養う責任を男女ともに担う社会になる 6 適当な相手にまだめぐり会わない → 結婚に関する法律や制度が変わる 7 異性とうまくつき合えない → 異性と出会う機会が増える 8 結婚資金が足りない → 結婚したいと思う相手が現れる 9 結婚生活のための住居のめどがたたない → 子どもができる 10 親や周囲が結婚に同意しない(だろう) → 自分や家族の個人的事情が変わる

(2017年10月26日)

該当箇所	正誤内容		
p. 353 表 17-2 平均出生子ども数		(誤)	(正)
	結婚持続期間：15～19年	2.12	1.94
	妻の結婚年齢		
	15～18歳	2.36	2.56
	19～20歳	2.25	2.32
	21～22歳	2.31	2.29
	23～24歳	2.15	2.10
	25～26歳	2.05	1.91
27～28歳	1.94	1.79	
29～30歳	2.25	1.71	

(2017年10月5日)

該当箇所	正誤内容
p. 8 「第Ⅱ部 夫婦調査の結果」第3章1行目	(誤)夫婦の40.4%が避妊を実施しており、 → (正)夫婦の39.8%が避妊を実施しており、
p. 20 図表Ⅰ-1-14 注を追加	注：対象は18～34歳の未婚者。今後「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性がある」と回答した未婚者に占める各選択肢の選択割合を示す。
p. 45 小見出し	(誤)夫婦による避妊の現在実行率は40.4% → (正)夫婦による避妊の現在実行率は39.8%
p. 45 小見出しの下2行目	(誤)夫婦の40.4%が避妊を実行中であり、 → (正)夫婦の39.8%が避妊を実行中であり、
表にミスあり、差し替え →次ページ以降に正しい表を掲載 (黄色ハイライト部分の数値を修正)	p. 56 図表Ⅱ-4-11 末子年齢別に見た現在無職の妻の就業希望：第15回調査
	p. 73 図表Ⅲ-1-11 年齢別にみた、未婚者の子どもを持つ理由：第15回調査
	p. 77 図表Ⅲ-1-16 年齢別にみた、未婚者が男の子および女の子に受けさせたい教育の程度：第15回調査
	p. 78 図表Ⅲ-1-17 妻の年齢別にみた、夫婦が男の子および女の子に受けさせたい教育の程度：第15回調査
p. 87 図表Ⅲ-3-3 結婚・家族に関する妻の意識：第15回調査	
p. 79 小見出しの下2行目	(誤)有配偶女性(夫婦の妻)の66.8% → (正)有配偶女性(夫婦の妻)では66.9%
p. 79 図表Ⅲ-2-1 図表タイトル	(誤)学卒時の授業上の地位の構成 → (正)学卒時の従業上の地位の構成
p. 79 図表Ⅲ-2-1 有配偶女性(夫婦の妻)の図	25～29歳、総数の正規の職員割合 (誤)66.8 → (正)66.9 30～34歳、大学以上の正規の職員割合 (誤)71.7 → (正)71.6
p. 205 右段 前婚の第3子出生月	13行目 (誤)不明 → (正)不詳
p. 430 表23-3	表側第1行 (誤)結婚持続期間：20～24年 → (正)結婚持続期間：25年以上

(2017年10月5日)

※56 ページ 図表Ⅱ-4-11 の差し替えは、以下のとおり。

図表Ⅱ-4-11 末子年齢別に見た現在無職の妻の就業希望：第15回調査(2015年)

(誤)

末子年齢 (客体数)	就業を希望 する				今後も仕事 をするつも りはない	その他	不詳
		すぐにでも 働きたい	しばらく間 をおいてか ら働きたい	特に時期の 希望はない がいずれ 働きたい			
0～2歳 (268)	91.4%	12.4	35.6	43.4	4.9	1.5	2.2
3～5歳 (202)	92.1	17.8	27.7	46.5	6.9	-	1.0
6～8歳 (170)	85.6	22.8	13.8	49.1	12.0	1.2	1.2
9～14歳 (270)	76.3	24.4	9.3	42.6	20.7	1.5	1.5
総 数 (910)	86.0	19.1	22.0	44.9	11.4	1.1	1.5

(正)

末子年齢 (客体数)	就業を希望 する				今後も仕事 をするつも りはない	その他	不詳
		すぐにでも 働きたい	しばらく間 をおいてか ら働きたい	特に時期の 希望はない がいずれ 働きたい			
0～2歳 (267)	91.4%	12.4	35.6	43.4	4.9	1.5	2.2
3～5歳 (202)	92.1	17.8	27.7	46.5	6.9	-	1.0
6～8歳 (167)	85.6	22.8	13.8	49.1	12.0	1.2	1.2
9～14歳 (270)	76.3	24.4	9.3	42.6	20.7	1.5	1.5
総 数 (906)	86.0	19.1	22.0	44.9	11.4	1.1	1.5

※77 ページ 図表Ⅲ-1-11 の差し替えは、以下のとおり。

図表Ⅲ-1-11 年齢別にみた、未婚者の子どもを持つ理由：第15回調査(2015年)

(誤)

年齢	(客体数)	(複数回答)								
		子どもが豊かになると生活が楽しいから	結婚して子どもを持つことは自然なことだから	好きな人の子どもの持ちたいから	子どもは将来の社会の支えとなるから	子どもは夫婦関係を安定させるから	子どもは老後の支えになるから	夫や親など周囲が望むから	子どもを持つことで周囲から認められるから	その他
【未婚男性】										
18～24歳	(1,007)	67.6 %	48.0	39.0	21.4	19.0	14.0	7.3	4.6	3.2
25～34歳	(983)	67.2	48.3	39.9	18.6	18.6	14.6	9.9	6.2	2.5
小計(18～34歳)	(1,990)	67.4	48.1	39.4	20.0	18.8	14.3	8.6	5.4	2.9
35～44歳	(490)	62.7	47.6	35.7	27.1	21.2	21.8	12.7	8.6	4.3
45～49歳	(115)	66.1	55.7	27.0	26.1	21.7	26.1	10.4	6.1	1.7
総数(18～49歳)	(2,595)	66.5	48.4	38.2	21.6	19.4	16.3	9.4	6.0	3.1
【未婚女性】										
18～24歳	(1,155)	75.6 %	37.6	55.8	18.6	20.1	18.8	9.9	2.7	3.7
25～34歳	(874)	73.0	40.5	56.2	20.5	22.5	22.7	16.7	4.3	4.5
小計(18～34歳)	(2,029)	74.5	38.8	56.0	19.4	21.1	20.5	12.8	3.4	4.0
35～44歳	(277)	66.8	38.6	46.9	22.7	18.1	27.1	10.8	8.7	5.8
45～49歳	(34)	55.9	50.0	67.6	8.8	8.8	17.6	2.9	2.9	5.9
総数(18～49歳)	(2,340)	73.3	39.0	55.1	19.7	20.6	21.2	12.4	4.0	4.3

(正)

年齢	(客体数)	(複数回答)								
		子どもが豊かになると生活が楽しいから	結婚して子どもを持つことは自然なことだから	好きな人の子どもの持ちたいから	子どもは将来の社会の支えとなるから	子どもは夫婦関係を安定させるから	子どもは老後の支えになるから	夫や親など周囲が望むから	子どもを持つことで周囲から認められるから	その他
【未婚男性】										
18～24歳	(1,007)	67.6 %	48.0	39.0	21.4	19.1	14.0	7.3	4.6	3.2
25～34歳	(983)	67.2	48.3	39.9	18.6	18.6	14.6	9.9	6.2	2.5
小計(18～34歳)	(1,990)	67.4	48.1	39.4	20.0	18.8	14.3	8.6	5.4	2.9
35～44歳	(490)	62.7	47.6	35.7	27.1	21.2	21.8	12.7	8.6	4.3
45～49歳	(115)	66.1	55.7	27.0	26.1	21.7	26.1	10.4	6.1	1.7
総数(18～49歳)	(2,595)	66.5	48.4	38.2	21.6	19.4	16.3	9.4	6.0	3.1
【未婚女性】										
18～24歳	(1,155)	75.6 %	37.6	55.8	18.6	20.1	18.8	9.9	2.7	3.7
25～34歳	(874)	73.0	40.5	56.2	20.5	22.5	22.7	16.7	4.3	4.5
小計(18～34歳)	(2,029)	74.5	38.8	56.0	19.4	21.1	20.5	12.8	3.4	4.0
35～44歳	(277)	66.8	38.6	46.9	22.7	18.1	27.1	10.8	8.7	5.8
45～49歳	(34)	55.9	50.0	67.6	8.8	8.8	17.6	2.9	2.9	5.9
総数(18～49歳)	(2,340)	73.3	39.0	55.1	19.7	20.6	21.2	12.4	4.0	4.3

※77 ページ 図表Ⅲ-1-16 の差し替えは、以下のとおり。

図表Ⅲ-1-16 年齢別にみた、未婚者が男の子および女の子に受けさせたい教育の程度：
第 15 回調査(2015 年)

(誤)

子どもの性別・年齢			総数	子どもに受けさせたい教育の程度						
				大学以上			短大・高専	専修・ 専門学校	高校・ 中学校	その他・ 不詳
				大学以上	大学院	大学				
男の子に 受けさせたい	未婚男性	20～24歳	100.0 %	72.1	3.4	68.7	1.1	5.3	17.1	4.4
		25～29歳	100.0	72.6	4.7	67.9	1.5	4.9	16.3	4.7
		30～34歳	100.0	69.7	5.4	64.3	1.9	7.1	16.7	4.6
		小計 18～34歳	100.0	71.8	5.0	66.8	1.3	5.5	16.7	4.7
		小計 35～49歳	100.0	61.0	3.2	57.7	1.5	7.5	22.9	7.1
	総数 18～49歳	100.0	69.1	4.5	64.5	1.3	6.0	18.3	5.3	
	未婚女性	20～24歳	100.0	77.8	2.4	75.4	1.3	4.3	12.2	4.5
		25～29歳	100.0	83.1	3.4	79.6	1.2	6.9	6.0	2.8
		30～34歳	100.0	74.4	4.0	70.3	1.4	6.3	10.7	7.2
		小計 18～34歳	100.0	78.4	2.8	75.6	1.3	5.4	10.5	4.4
小計 35～49歳		100.0	75.1	4.2	70.9	2.3	7.9	6.5	8.2	
総数 18～49歳	100.0	77.8	3.1	74.7	1.5	5.8	9.8	5.1		
女の子に 受けさせたい	未婚男性	20～24歳	100.0 %	65.7	2.1	63.6	4.9	8.1	15.0	6.3
		25～29歳	100.0	63.6	2.4	61.2	5.5	9.3	15.1	6.5
		30～34歳	100.0	60.5	2.1	58.5	8.4	8.4	16.7	6.1
		小計 18～34歳	100.0	64.1	2.5	61.6	5.8	8.3	15.5	6.3
		小計 35～49歳	100.0	52.5	1.7	50.7	6.7	9.0	22.2	9.6
	総数 18～49歳	100.0	61.1	2.3	58.8	6.0	8.5	17.2	7.1	
	未婚女性	20～24歳	100.0	66.0	1.5	64.5	7.7	9.9	12.9	3.4
		25～29歳	100.0	71.7	2.1	69.6	6.7	11.1	8.1	2.4
		30～34歳	100.0	58.8	1.7	57.1	11.0	11.5	11.0	7.8
		小計 18～34歳	100.0	66.6	1.6	65.0	7.5	10.5	11.6	3.9
小計 35～49歳		100.0	60.0	3.3	56.7	11.9	10.7	8.0	9.4	
総数 18～49歳	100.0	65.3	1.9	63.4	8.3	10.5	10.9	4.9		

(正)

子どもの性別・年齢			総数	子どもに受けさせたい教育の程度						
				大学以上			短大・高専	専修・ 専門学校	高校・ 中学校	その他・ 不詳
				大学以上	大学院	大学				
男の子に 受けさせたい	未婚男性	20～24歳	100.0 %	72.1	3.4	68.7	1.1	5.3	17.1	4.4
		25～29歳	100.0	72.6	4.7	67.9	1.5	4.9	16.3	4.7
		30～34歳	100.0	69.7	5.4	64.3	1.9	7.1	16.7	4.6
		小計 18～34歳	100.0	71.8	5.0	66.8	1.3	5.5	16.7	4.7
		小計 35～49歳	100.0	61.0	3.2	57.7	1.5	7.5	22.9	7.1
	総数 18～49歳	100.0	69.0	4.5	64.5	1.3	6.0	18.3	5.3	
	未婚女性	20～24歳	100.0	77.8	2.4	75.4	1.3	4.3	12.2	4.5
		25～29歳	100.0	83.1	3.4	79.6	1.2	6.9	6.0	2.8
		30～34歳	100.0	74.4	4.0	70.3	1.4	6.3	10.7	7.2
		小計 18～34歳	100.0	78.4	2.8	75.6	1.3	5.4	10.5	4.4
小計 35～49歳		100.0	75.1	4.2	70.9	2.3	7.9	6.5	8.2	
総数 18～49歳	100.0	77.8	3.1	74.7	1.5	5.8	9.8	5.1		
女の子に 受けさせたい	未婚男性	20～24歳	100.0 %	65.7	2.1	63.6	4.9	8.1	15.0	6.3
		25～29歳	100.0	63.6	2.4	61.2	5.5	9.3	15.1	6.5
		30～34歳	100.0	60.5	2.1	58.5	8.4	8.4	16.7	6.1
		小計 18～34歳	100.0	64.1	2.5	61.6	5.8	8.3	15.5	6.3
		小計 35～49歳	100.0	52.5	1.7	50.7	6.7	9.0	22.2	9.6
	総数 18～49歳	100.0	61.1	2.3	58.8	6.0	8.5	17.2	7.1	
	未婚女性	20～24歳	100.0	66.0	1.5	64.5	7.7	9.9	12.9	3.4
		25～29歳	100.0	71.7	2.1	69.6	6.7	11.1	8.1	2.4
		30～34歳	100.0	58.8	1.7	57.1	11.0	11.5	11.0	7.8
		小計 18～34歳	100.0	66.6	1.6	65.0	7.5	10.5	11.6	3.9
小計 35～49歳		100.0	60.0	3.3	56.7	11.9	10.7	8.0	9.4	
総数 18～49歳	100.0	65.3	1.9	63.4	8.3	10.5	10.9	4.9		

※78 ページ 図表Ⅲ-1-17 の差し替えは、以下のとおり。

図表Ⅲ-1-17 妻の年齢別にみた、夫婦が男の子および女の子に受けさせたい教育の程度：
第15回調査(2015年)

(誤)

子どもの性別・ 妻の年齢		総数	子どもに受けさせたい教育の程度						
			大学以上	大学院	大学	短大・高専	専修・専門 学校	高校・ 中学校	その他・ 不詳
た受男 いけの 教さ子 育せに	20～29歳	100.0 %	67.4	3.2	64.2	1.5	8.9	14.0	8.5
	30～39歳	100.0	77.3	4.4	72.9	1.1	5.6	7.4	8.6
	40～49歳	100.0	77.3	5.5	71.7	1.2	5.4	7.1	9.0
	総数	100.0	76.4	4.9	71.5	1.2	5.8	7.8	8.8
た受女 いけの 教さ子 育せに	20～29歳	100.0 %	54.3	1.3	53.2	7.4	12.1	16.1	10.0
	30～39歳	100.0	60.8	2.4	58.4	11.4	9.6	8.7	9.6
	40～49歳	100.0	58.9	1.7	57.2	10.7	10.9	8.6	11.0
	総数	100.0	59.2	1.9	57.3	10.6	10.5	9.3	10.4
(参考) 第10回調査 (1992年)	男の子の教育	100.0	73.9	…	…	6.8	…	7.8	11.6
	女の子の教育	100.0	34.3	…	…	38.5	…	14.7	12.6

(正)

子どもの性別・ 妻の年齢		総数	子どもに受けさせたい教育の程度						
			大学以上	大学院	大学	短大・高専	専修・専門 学校	高校・ 中学校	その他・ 不詳
た受男 いけの 教さ子 育せに	20～29歳	100.0 %	67.4	3.2	64.2	1.5	8.7	14.0	8.5
	30～39歳	100.0	77.3	4.4	72.9	1.1	5.6	7.4	8.6
	40～49歳	100.0	77.3	5.5	71.7	1.2	5.4	7.1	9.0
	総数	100.0	76.4	4.9	71.5	1.2	5.8	7.8	8.8
た受女 いけの 教さ子 育せに	20～29歳	100.0 %	54.4	1.3	53.2	7.4	12.1	16.1	10.0
	30～39歳	100.0	60.8	2.4	58.4	11.4	9.6	8.6	9.6
	40～49歳	100.0	58.9	1.7	57.2	10.7	10.9	8.6	11.0
	総数	100.0	59.2	1.9	57.3	10.6	10.5	9.3	10.4
(参考) 第10回調査 (1992年)	男の子の教育	100.0	73.9	…	…	6.8	…	7.8	11.6
	女の子の教育	100.0	34.3	…	…	38.5	…	14.7	12.6

※87 ページ 図表Ⅲ-3-3 の差し替えは、以下のとおり。

図表Ⅲ-3-3 結婚・家族に関する妻の意識：第15回調査(2015年)

(誤)

結婚・家族に関する考え方	総 数 客体数 (5,335)	賛 成	賛 成		反 対	反 対		不 詳	(参考) 第14回調査	
			賛 成 ま つ た く	い ど え ち ら ば ら か と		反 対 ま つ た く	い ど え ち ら ば ら か と		賛 成	反 対
① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	100.0 %	54.5 %	9.7	44.8	41.3 %	10.7	30.6	4.2 %	57.3 %	38.3 %
② 男女と一緒に暮らすなら結婚すべきである	100.0	69.3	15.8	53.5	27.0	7.3	19.7	3.7	72.3	23.6
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	100.0	87.5	34.2	53.3	8.8	1.5	7.3	3.7	82.6	13.4
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	100.0	85.3	28.5	56.9	10.9	2.5	8.4	3.8	88.4	8.0
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	100.0	85.0	24.7	60.3	10.7	1.2	9.5	4.3	84.0	11.8
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	100.0	48.4	6.2	42.2	47.8	12.3	35.5	3.9	46.4	49.7
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	100.0	27.3	2.7	24.6	69.0	27.4	41.6	3.7	31.9	64.0
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	100.0	66.6	12.3	54.3	28.9	10.7	18.2	4.4	71.2	24.3
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	100.0	63.7	14.4	49.3	32.5	10.2	22.3	3.8	69.5	26.5
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	100.0	52.3	10.7	41.6	43.8	12.4	31.4	3.9	54.9	40.7
⑪ 結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない	100.0	35.4	7.7	27.7	60.6	15.5	45.1	4.0	36.4	59.6
⑫ 結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ	100.0	60.1	9.5	50.6	27.7	3.1	31.9	5.0
⑬ 女性が最初の子どもの産むなら20代のうちがよい	100.0	81.9	29.2	52.6	14.1	3.1	11.0	4.0

(正)

結婚・家族に関する考え方	総 数 客体数 (5,334)	賛 成	賛 成		反 対	反 対		不 詳	(参考) 第14回調査	
			賛 成 ま つ た く	い ど え ち ら ば ら か と		反 対 ま つ た く	い ど え ち ら ば ら か と		賛 成	反 対
① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	100.0 %	54.5 %	9.7	44.8	41.3 %	10.7	30.6	4.2 %	57.3 %	38.3 %
② 男女と一緒に暮らすなら結婚すべきである	100.0	69.3	15.8	53.5	27.0	7.3	19.7	3.7	72.3	23.6
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	100.0	87.5	34.2	53.3	8.8	1.5	7.3	3.7	82.6	13.4
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	100.0	85.3	28.4	56.9	10.9	2.5	8.4	3.8	88.4	8.0
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	100.0	85.0	24.7	60.3	10.7	1.2	9.5	4.3	84.0	11.8
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	100.0	48.4	6.2	42.2	47.8	12.3	35.5	3.9	46.4	49.7
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	100.0	27.3	2.7	24.6	69.0	27.4	41.6	3.7	31.9	64.0
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	100.0	66.6	12.3	54.3	28.9	10.7	18.2	4.4	71.2	24.3
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	100.0	63.7	14.4	49.3	32.5	10.2	22.3	3.8	69.5	26.5
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	100.0	52.3	10.7	41.6	43.8	12.4	31.4	3.9	54.9	40.7
⑪ 結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない	100.0	35.3	7.7	27.7	60.6	15.5	45.1	4.0	36.4	59.6
⑫ 結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ	100.0	60.0	9.4	50.6	35.0	3.1	31.9	5.0
⑬ 女性が最初の子どもの産むなら20代のうちがよい	100.0	81.9	29.2	52.6	14.1	3.1	11.0	4.0